

第23回
外国人による
日本語スピーチコンテスト

2014年2月1日（土）午後1：00～4：30

ところ／県民文化センター小ホール

主催／公益財団法人茨城県国際交流協会

共催／茨城県

*茨城県教育長賞

児玉 彬彬 (中国出身)

「新たな私の人生『なんでやねん!!』から『なんだっぺ!!』」

みなさん、こんにちは。

私は約15年前に大阪の大学に留学しました。その時、友人の里親と会う機会があり、運よく私も里子してもらいました。そこで、私の人生を大きく変える「出会い」があったんです。みなさん、なんだかわかりますか？「結婚」です。留学生の私を里子として受け入れてくれた家に嫁ぐことになってしまいました。里子から本当の娘に？「なんでやねん?!」と思いました。

大阪で留学生生活を終え、夫婦として新しい生活が始まりました。10年前、主人の仕事のため、茨城県に来ることになりました。「茨城ってどこ?」「友達もいないし、誰にも相談できないじゃない…私大丈夫?」正直、茨城に来るのは不安でした。息子が幼稚園に入ってから、「ママ友」ができて、いろいろな情報を教えてもらえるようになって、不安が少しずつなくなりました。

そんな中、縁があって、東海村役場で働くことになりました。私の中で「役場」のイメージは、ガチガチに頭が硬くて石みたいな人が働いている感じでしたが、今の部署の人はみんな和気あいあいとしていて、わからないことを聞けば手取り足取りやさしく教えてくれています。たまに、『なんだべ?!』『んん?』『なんだっぺ?!』茨城弁がわからないことがあります。大阪弁より難しいかも。と言うより日本語、難しいですね。

この前、同僚と話をしている時に、『顔に吹き出物ができた』『ええっ?!ふてきもの?!』と言ってしまいました。大変失礼しました。最近、課長の勧めもあって、これまでの経験を活かして「私に何かできないか?」と考えてみました。息子が幼稚園に入る前に私が感じた「孤独感」「孤立感」同じ気持ちを持っている外国人が他にもいるかも。いや、きっといるはず。だったら、このママたちが気軽に集まれる場所を作ってあげよう!!幸いにして、今の私の職場は「国際化」を担っており、国際交流なら自由に、しかも無料で使える施設も管理しています。この施設を上手に使って何か始めたい!

いろいろ考えましたが、やっぱり「食べる」ことをきっかけにしたら良いかなと思いました。女の人は、おしゃべりをしながら食べるのが好きですからね。そこで、第1弾として、「手作り餃子のママサークル」を企画し、昨年11月に実施しました。外国人を中心に、10名ほど集まりました。単に情報収集の場、おしゃべりの場とすることが目的ではなく、自ら地域社会に溶け込んでいけるきっかけになったら、と思っています。ここに参加した人が、最終的に自ら生きがいを感じてもらえるようになったら幸いです。

まだ始めたばかりのささやかな一歩ですが、このような小さな草の根活動を続けていくことで大きな輪になって、外国人も住み良い地域社会を作るお手伝いができたらとても光栄です。

最後になりますが、里親に会えて良かった。茨城に会えて良かった。役場のみなさんと出会えて良かった。そして、今日ご来場のみなさんと出会えて、本当に良かった。たくさんの縁と絆に感謝したいと思います。

ご清聴ありがとうございました。